

[災害統計]

平成25年における車両系荷役運搬機械等による死亡災害の発生状況

■ 平成25年における車両系荷役運搬機械による死亡災害の発生状況

平成25年に発生したフォークリフト等の車両系荷役運搬機械等に起因する労働災害による死亡者数は26名で、前年の34名に比べ8名（▲23.5%）の減少している。

機械の種類別・業種別の死亡者数は表1のとおりである。

機械の種類別では、フォークリフトに起因するものが24名（92.3%）と圧倒的に多く、残りは不整地運搬車の2名（7.7%）となっている。

業種別では、製造業の13名（50.0%）が最も多く、次いで商業・卸売業と陸上貨物運送業がそれぞれ4名（15.4%）ずつと並び、この3業種で約81%を占めている。

次に、フォークリフトの事故の型別・業種別の死亡者数は表2のとおりである。

「はさまれ・巻き込まれ」によるものが8名（33.3%）、「転倒」によるものが5名（20.8%）、以下、「墜落・転落」4名（16.7%）と続いている。

不整地運搬車については、建設業で2件発生しており、そのうち1件が「墜落・転落」で、もう1件が「激突」の事故となっている。

（情報提供：厚生労働省）

表1:車両系荷役運搬機械等の種類別・業種別死亡災害発生状況(平成25年)

(単位:人)

業種 機械の種類	業種									計
	製造業	鉱業	建設業	交通運輸 事業	陸上貨物 運送事業	港湾 荷役業	農業 水産業 林業	商業 卸売業	その他の 事業	
フォークリフト	13	0	0	0	4	1	1	4	1	24
ショベルローダー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フォークローダー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ストラドルキャリアー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不整地運搬車	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
構内搬送車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	2	0	4	1	1	4	1	26

表2:フォークリフトによる事故の型別・業種別死亡災害発生状況(平成25年)

(単位:人)

業種 事故の型	業種									計
	製造業	鉱業	建設業	交通運輸 事業	陸上貨物 運送事業	港湾 荷役業	農業 水産業 林業	商業 卸売業	その他の 事業	
墜落・転落	2	0	0	0	1	0	1	0	0	4
転倒	3	0	0	0	0	0	0	1	1	5
激突	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
飛来・落下	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
崩壊・倒壊	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
激突され	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
挟まれ・巻込まれ	5	0	0	0	1	1	0	1	0	8
破裂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	4	1	1	4	1	24